

岡山と中国を結ぶ日中友好のしんぶん

岡山と中国

新年特別号

2025年1月
令和7年1月
282号

信条

この会は思想・信条、政党・政派の違いとらわれない
この会は広く各界各層の日中友好を願う人々の市民組織である

発行所 認定NPO法人 岡山市日中友好協会 〒700-0902 岡山市北区錦町5-15
http://www.oka-rizhongyouxie.jp/ (086) 225-5068 FAX (086) 225-5041 発行人 土井章弘 1部200円 印刷 旭総合印刷株
E-mail: oknittyu@yahoo.co.jp 郵便振替 01240-1-8821 加入者名 岡山市日中友好協会 編集人 松井三平

内山完造翁生誕140周年「内山精神」の顕彰を 若い世代の友好運動参加を支援

2025年 新年ご挨拶

平和友好、共存共栄の正道を邁進

岡山市日中友好協会会長 土井章弘



2025年新年あけましておめでとうございます。

旧年中は日中友好活動へのご理解と当協会に対するご協力、ご支援を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。特に、8月30日に開催されました「第7回西日本地区中日友好交流大会」では、準備から開催に到るまで薛劍総領事閣下を始めとする駐大阪総領事館の方々と、県下の日中

協会は今年、設立44年を迎えた。設立当時と比べると日中を取り巻く国際環境も大きく変わってきた。とりわけ中国の変化、進展はドラスティックで急速である。これにより中国の政治的、経済的存在感急激に高まっ

友好団体が協力して取り組み、大型台風10号の接近という状況の中で、700名の参加を得て盛会裏に終えることができました。私たちはこの成果を励みと動に一層尽力して参りたいと存じます。本年は、戦後80年という大きな節目の年です。歴史を鑑として日中共同声明の精神を更に発揚し、日中平和友好、共存共栄の正道を歩んで参りたいと思います。また、今年、郷土岡山出身である内山完造先生の生誕140周年にあたります。本年度の活動の柱に生誕記念事

海と岡山で開催。記念訪中・訪日団を招聘する。残された資料等の整理や広く市民の協賛を得るための寄付金募集も考えたい。この重点活動と並行し4月の洛陽牡丹文化祭への「岡山市民訪問団」の派遣など、洛陽市との交流を促進する。もう一つの重要課題は組織財政基盤の強化と友好活動の人材育成である。来年の協会設立45年に向けて、今年は前進の年にしていく！ (松井)

2月11日定期総会 富坂聰氏記念講演

認定NPO法人岡山市日中友好協会は、2月11日、岡山市北区駅元町のANAクラウンプラザホテル岡山で、2025年度(令和7年度)定期総会と、日中友好新春互礼会を開催する。



講演会の講師は、拓殖大学海外事情研究所教授でジャーナリストの富坂聰氏。

テーマは「米中対立での中国の選択」メディアが語らない真実を知り、私たちの選択を考える。 (総会、記念講演会等の詳細は3面に掲載)

あけましておめでとうございます 未来につながる友情の絆を (五十音順)

地域医療支援病院
公益財団法人 操風会
岡山旭東病院
総院長 土井章弘
岡山市中区倉田567-1
電話 086-276-3231

外国人のための日本語教育
日本語教師養成講座
学校法人アジアの風 **岡山外語学院**
理事長 片山浩子
校長 尾亦祐司
岡山市北区舟橋町2-1-10
TEL: 011-111-5111
http://okg.jp.com

学校法人 **岡山科学技術学園**
理事長 瀬戸川正彦
岡山市北区昭和町八番一〇号
電話(086)255-1717

エヴァホール
電話(011)051-0000

(株)アジア・コミュニケーションズ
代表取締役 松井三平
岡山市北区錦町5-1-5
電話(086)231-0334
FAX(086)231-7732

旭総合印刷株式会社
代表取締役社長 大松康彦
岡山市北区内山下二丁目1-1
電話 231-1331

謹賀新年

新年ご挨拶

2025年(令和7年)

密接な関係ある中国と
絆を更に強固なものに

岡山市長 大森 雅夫



皆様方におかれましては、
健やかに新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

岡山市日中友好協会の皆様
におかれましては、平素から、
岡山市の国際友好都市である
洛陽市との交流をはじめ、日
中両国の民間交流の推進に大
きな役割を果たして頂き、心
から感謝申し上げます。

本市と洛陽市が1981年
に友好都市を締結してから今
年で44年目を迎えます。

昨年4月には岡山市公式訪
問団が洛陽市を訪問し、11月
には洛陽市人民政府訪問団の
皆様も岡山市に来訪して頂
き、5年ぶりの相互訪問が叶
いました。

また、洛陽市荣誉市民の誉
れに、新たに貴協会の松井三
平氏が名を連ね、岡山市と洛
陽市の絆が益々深まっている
と感じているところでです。

8月には6年ぶりに開催し
た「国際サマーホームステイ」
に洛陽市の中高生8名が参加
され、岡山での生活を経験す

るとともに、岡山市の中高生
との交流活動などを通じて、
未来につながる友情の絆を築
くことができました。

今後も様々な取組を通じ
て、歴史的・地理的に密接な
関係のある中国とこれまで
培ってきた絆をさらに強固な
ものとすべく取り組んでまい
ります。引き続き皆様方のお
力添えを賜りますようお願い
申し上げます。

市民の皆様からご支持、ご
支援を賜り担ってきた市政の
かじ取りは、早いもので12年
目となりました。

これまで「住みやすさ」「力
強さ」「安全・安心」を大切に、
市政を進めてまいりましたと
ころ、「岡山のまちは大きく
動いている」との評価を頂く
ことが多くなっています。

迎えました新年は、脱皮を
する蛇のイメージから、挑戦
や変化に対し前向きな年にな
ると言われる「巳年」です。

今年も、岡山市が住み続け
ることに誇りを持つる街であ
り続けられるよう、街なかの
賑わいづくり、地域経済の活
性化、公共交通の利便性向上、
子育て・教育や健康・福祉の
充実、国際交流、防災対策な
どの施策をより力強く推し進
めてまいります。

年頭に当たり、市政への一
層のご支援、ご協力をお願い
申し上げますとともに皆様方
のますますのご健勝とご多幸
を心より祈念申し上げます。

縁起の良い巳年の新春を迎
えるにあたり、中華人民共和
国駐大阪総領事館を代表し、
謹んで岡山市日中友好協会を
はじめとする岡山市各界の皆
様に新年の祝福を申し上げます。
心より感謝の意を表します。

心をひとつに友好促進
協力推進の勢い高める

中華人民共和
国駐大阪総領事
薛 劍



昨年8月には、岡山県・岡
山市各界及び岡山県の各自
治体と友好提携関係にある中
国の関係各省・市の多大なる
ご支援の下、そして、西日本
区中日友好協会、特に貴協会
の皆様が多大なご厚情・ご
力を頂き、私たちは最強クラ
スの台風10号にも負けず、手
を携えて岡山で第7回西日本
地区中日友好交流大会を成功
させ、力強く中日友好の優
れた伝統を発揚し、交流強化
の共通認識を結集させ、協力
推進の勢いを高めました。

新年を展望しますと、私
たちは引き続き、両国の民間
交流に再び新たな輝きを吹

き込むよう全力で推進してい
くべきです。
今年には世界反ファシズム戦
争勝利80周年という節目の年
にあたります。
歴史と現実が教えてくれた
ように、平和・友好・協力は
両国民の根本的利益に合致す
るものであり、中日間の唯一
正しい付き合い方です。
しばらく前に、両国の指導
者がペルーのリマで会談し、
戦略的互恵関係の全面的推
進、新時代の要請に合致する
建設的かつ安定した中日関係
の構築について重要な共通認
識に達し、私たちに更なる自
信と期待を与えて下さいまし
た。

中日関係の根幹は民間に、
活力は地方にあります。貴協
会には、土井章弘会長のご指
導の下、日中友好の良き伝統
を受け継ぎ、時代のチャンス
を捉え、友好都市洛陽市とよ
り広範で深い交流を展開して
いくことで、地方・民間レベ
ルから両国関係の改善・発展
にプラスのエネルギを注入
してくださることを期待して
います。

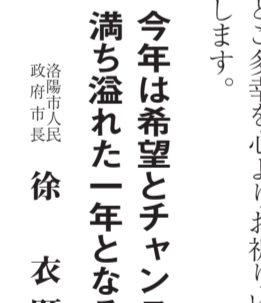
中華人民共和国駐大阪総領
事館も貴協会と共に、より一
層バラエティ豊かな友好交流
活動を展開し続けながら、双
方の国民、特に青少年世代が
リアルで客観的かつ全面的な
相互認識を確立する為の機会
をより多く作っていくこと
で、両国の地方民間交流に新
たなブームを巻き起こし、中

新年を迎え、私は洛陽市人
民政府と700万人の洛陽市
民を代表し、岡山市の方々及
び岡山市日中友好協会の友人
各位に対し、心からのご挨拶
と新春のお祝いを申し上げます
！

昨年8月には、岡山県・岡
山市各界及び岡山県の各自
治体と友好提携関係にある中
国の関係各省・市の多大なる
ご支援の下、そして、西日本
区中日友好協会、特に貴協会
の皆様が多大なご厚情・ご
力を頂き、私たちは最強クラ
スの台風10号にも負けず、手
を携えて岡山で第7回西日本
地区中日友好交流大会を成功
させ、力強く中日友好の優
れた伝統を発揚し、交流強化
の共通認識を結集させ、協力
推進の勢いを高めました。

新年を展望しますと、私
たちは引き続き、両国の民間
交流に再び新たな輝きを吹

き込むよう全力で推進してい
くべきです。
今年には世界反ファシズム戦
争勝利80周年という節目の年
にあたります。
歴史と現実が教えてくれた
ように、平和・友好・協力は
両国民の根本的利益に合致す
るものであり、中日間の唯一
正しい付き合い方です。
しばらく前に、両国の指導
者がペルーのリマで会談し、
戦略的互恵関係の全面的推
進、新時代の要請に合致する
建設的かつ安定した中日関係
の構築について重要な共通認
識に達し、私たちに更なる自
信と期待を与えて下さいまし
た。



洛陽市人民
政府市長 徐 衣顕

今年には希望とチャンス
満ち溢れた一年となる

今年には希望とチャンス
満ち溢れた一年となる

今年には希望とチャンス
満ち溢れた一年となる

未来につながる友情の絆を (五十音順)

岡山県日中教育交流協議会

会長 鍵本芳明

〒700-0902 岡山市北区錦町五十一番五
南田辺ビル二階
電話(086)225-1508
FAX(086)225-1504

専門学校

岡山ビジネスカレッジ

校長 西崎 誠

岡山市北区岩田町三二二
電話 一一三三一一三六四〇〇
FAX 一一三三一一三六四〇〇
http://www.obcnet.ac.jp
E-mail:obc@obcnet.ac.jp

黒住教

教主 黒住宗道

〒701-1222 岡山市北区尾上神道山
電話(086)284-2222 (代表)

五洋工業株式会社

代表取締役 田口晃大

岡山市北区新屋敷町一六一二六
電話 二四一-四六五五

下津井電鉄株式会社

代表取締役会長 永山久人

岡山市北区大元駅前三一六一
電話(代表)二三三-八八一

株式会社 田辺産業

代表取締役 田邊 繁之

岡山市北区錦町五一五
電話 二二五-一四九一

い、相互理解と友好を促進し、駐日往来の便宜のために、双方の青少年の心の中に中日友好の根を深く厚く植付け、洛陽市と岡山市の伝統的な友好をさらに推し進め、中日友好関係の未来に向けた発展の基礎を固めました。

習近平総書記は『中日は海を隔てて向かい合い、引越しの出来ない隣人である』『国の交わりは民間同士の親しさにあり、民間の親しさは、心と潤いの静かな滴りを集めて国と国、都市と都市の関係が相通じるところにある』と指摘しています。

民間友好の歴史は中日関係の独特な優位点であり、貴重な財産であり、両国関係の発展の過程でかけがえのない重要な役割を發揮してきました。

どんな偉大な事業であって、その成功の要因は人民の中心こそ根拠があります。

2025年は希望とチャンスに満ち溢れた一年です。洛陽と岡山が友好往来を強化し、実務的な協力を深化し、分野での交流と協力を新たな高みに押し上げるように願っています。

2025年 新春メッセーじ

2025年度(令和7年度) 総会・日中友好新春互礼会

表記の行事を左記の日程で開催します。万障繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 〔日時〕 2025年2月11日(火曜日・祝)
- ◎定期総会(午前9時半より)
- 2024年度事業報告、収支計算書報告、監査報告
- 2025年度役員改選、事業計画書案、活動予算書案
- ◎新春互礼会(午前10時半より13時半)
- 〔第一部〕 記念講演
- 講師 富坂 聰氏
- テーマ「米中対立での中国の選択」



〔第二部〕 懇親会

〔場所〕 ANAクラウンプラザホテル岡山

(岡山市北区駅元町、JR岡山駅西口)

〔会費〕 8000円

※詳細は配布チラシをご参照ください。

陽と岡山が友好往来を強化し、実務的な協力を深化し、分野での交流と協力を新たな高みに押し上げるように願っています。

土井会長はじめとする岡山市日中友好協会の皆様が新たな一年、ご健勝とご多幸を祈念いたします。

友好の伝統を継承して 民間友好交流の発展を

上海市人民対外友好協会会長

陳 靖



2025年の新年にあたり、

上海市人民対外友好協会を代表して、岡山市日中友好協会の皆様に、新春の祝賀を申し上げます。

上海市人民対外友好協会に對して関心と支持を寄せられている各界の友人に心から感謝申し上げます。

岡山市日中友好協会は設立以来、初志貫徹し、中日友好のために多くの貢献をしてこられました。

当会と協力関係を結び、文化、教育、民政、青少年などの幅広い分野で上海市と岡山市の民間交流を推進してこられました。

2024年に、我々両協会が多様な実り豊かな交流活動をおこない、人的交流に助力し、お互いの理解と友情を深めました。

最後に、岡山市日中友好協会が新しい一年においてますますご発展されますよう、またご友人の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



第7回西日本地区中日友好交流大会 岡山で初開催、700人参加盛況



大会で講演する薛総領事

区中日友好交流大会が、8月30日、岡山市のホテルグランヴィア岡山で開かれた。

当日は台風接近という荒れた天候にも係わらず、行政や教育関係者、中国からの来日者も含め日中両国の友好交流活動関係者ら約700人が参加、交流した。

主催は中国駐大阪総領事館と、岡山市日中友好協会など西日本地区日中友好協会。岡山県内での交流大会開催は初めて。

主催者を代表し、薛剣大阪

「友好の伝統を受け継ぎ、共によき未来を築こう」をテーマとした第7回西日本地区

この後、来賓挨拶や基調講演があり、岡山後楽館高校生による中国訪問交流発表が行われ、最後に全員で「大会友好宣言」を採択した。

大会宣言では「両国関係の未来は私たち一人ひとりの行動で決まります。手を携えて、共に日中友好の美しい未来を切り拓いていきましょう」と結んだ。

あけましておめでとうございます 未来につながる友情の絆を (五十音順)



株式会社 中外燐寸社

代表取締役 田中 礼一郎

岡山市南区浦安南町五五〇
電話 二六三一・二二四五

株式会社 トマト銀行

取締役社長 高木 晶悟

岡山市北区番町二一三・一四
電話(〇八六)二二二一・一〇一〇

洛陽に縁結んで半世紀

協会副会長 宮本 光研

〒七〇〇〇八〇七 岡山市北区南方三一一〇一四〇
電話(〇八六)二二三三・七四五〇

室賀ネジ機工株式会社

代表取締役 室賀 康史

岡山市北区大内田七六一一三
(ソリユツセ岡山内)
TEL(〇八六)二九二一・五五〇〇
FAX(〇八六)二九二一・五五八〇

株式会社 レイ

ANAクラウンプラザホテル岡山

取締役 岡崎 登

岡山市北区駅元町一五一一
電話 八九八一・一一一一



「内山完造研究会」本格始動…上海からも調査研究訪問団

書や音声テープ等各種資料

岡山市日中友好協会では、交流の深い上海から昨年10月から11月にかけて相次いで2組の「内山完造研究」関連の調査・交流訪問団を岡山に迎えた。

第1陣は、中共一大記念館の周崢副館長を団長とする訪日団5名で10月31日来岡。第2陣は傅継紅副会長を団長とする上海市人民対外友好協会の4名で11月28日に岡山入りした。

目的は内山完造翁の故郷である岡山の地に残されている資料類や、今後の上海との調査・交流、顕彰事業について協議することだった。

協会では、昨年に発足させた内山完造研究会を中心に、調査研究、交流準備を始めたばかり。早速の上海関係者の来訪となった。

今回は、両訪問団ともタイナな日程だったため、生誕地・井原市への訪問は行わず、岡山市内での調査、資料収集、確認にとどまった。

生誕地である井原市の成福寺（内山完造家菩提寺）の片岡良仁名誉住職は、わざわざ井原から大事に所蔵されている関連資料類を持参して頂いた。

それらの中には、完造直筆の書や、自書のハガキ類、当時の出版物などがあり、片岡氏の説明・解説に耳を傾けていた。

それに完造の肉声の入っている珍しいテープも紹介され、各参加者共に熱心に聞き入っていた。

吉備路文学館では、館長や事務局長を始め、運営母体である中国銀行の役員も参加して一行を歓迎。収蔵する貴重な内山資料を特別展示、詳細な説明を受けた。いずれも一級の資料ばかりで、一同熱心に耳を傾けていた。



上海訪日団との歓迎交流会



展示された各種資料



スピーチする松井専務

松井専務スピーチ 上海岡山県人会で

岡山県内から上海に進出している企業や行政関係者等々で構成されている岡山県人会の「2024中日企業家フォーラムおよび上海岡山県人会第100回記念会」が、11月29日、上海・虹口区で開かれ、岡山市日中友好協会から松井三平専務理事がゲスト参加しスピーチした。

記念会では岡山県産業労働部の北山敏行マーケティング推進室長がビデオメッセージ。松井専務理事は「虹口区は魯迅記念館や内山書店が開設された場所であり、この場で岡山と上海との経済フォーラムが開催されることは大変意義深い」と強調。協会が取り組んでいる内山完造生誕140周年記念事業への協力を呼び掛けた。



松本日中との研修交流会

松本日中を訪問 意見交換や活動報告 '25年の岡山訪問約束

岡山市日中友好協会は、10月12、13の両日、長野県松本市に訪問団を派遣、松本日中友好協会と研修交流会を行った。

び掛けた。これを受けて虹口区人民対外友好協会の謝榕榕会長が挨拶、同記念事業への協力を表明した。

記念会には岡山県進出企業、中国側の企業、友好協会の役員など約80名が参加し盛況だった。

岡山県人会は、中国銀行の上海連絡事務所能登浩一郎所長が事務局長を務め、定期的に研修と親睦会を実施している。

交流会は、2020年の新年互礼会の記念講演に、松本日中会長で相澤病院長の相澤孝夫氏を迎えた時、双方から交流の提案がなされ、これに応えたもの。

当協会からは、土井章弘会長ら8人、松本日中からは相澤会長ら10人が参加。お互いに意見交換や活動報告をし、質疑応答、懇親会を開催。翌日には名勝美ヶ原高原を見学し岡山での再会を誓って、お開きとした。

今年には岡山での交流会開催を計画している。

会員消息

- 〔2024年入会者〕
- 阿部友彦さん（岡山市）
- 杉本幸司さん（瀬戸内市）
- 張紅さん（岡山市）
- 山内圭さん（新見市）
- 神崎貞子さん（倉敷市）
- 岡本 啓さん（岡山市）
- 河村武人さん（岡山市）
- 藤井克隆さん（岡山市）
- 福田伸子さん（岡山市）

- 9/16：大シルクロード展開幕式（県美術館）
- 10/5：第4回理事会（事務所）
- 10/25：日中交流大会慰労会（又来軒）
- 10/27：岡崎嘉平太記念講演会（記念館）
- 10/31：中共一大記念館訪問団来岡、懇談会（ピュアリーテイマキビ。吉備路文学館）
- 11/4：湖南省訪問団（西日本地区日中友好協会）
- 11/5：上海奉賢区教育視察訪日団（矢掛、備前市、美作市。大阪市）
- 11/10：天津市対外友好協会設立40周年祝賀ビデオメッセージ
- 11/17：中国国際友好都市大会（雲南・昆明市）
- 11/25：洛陽市政府訪日団歓迎会（ラヴィール）
- 11/28：上海市人民対外友好協会訪日団来岡懇談会（岡山プラザホテル。吉備路文学館）
- 12/14：雲南オンラインネットワーキング（麗江、岡山）

先憂後楽

この原稿を書いているのは令和6年末。今年も慌ただしく時間が過ぎていった。時間は同じように流れているはずだが年を追って時間が速く過ぎていく気がしている。コロナで行けなかった中国には4月に天津、7月に洛陽2回、9月山東省煙台、11月に雲南の昆明、12月に上海と計6回行った。コロナ前までの訪中はほとんどが団体添乗員としての業務だったが、昨年はシンポジウムや交流会への要請による個人参加が増えた。煙台南山学院での日中韓のシンポジウムでは、日中友好協会の肩書で講演した。といって自分が関わってきた岡山での友好活動を紹介しただけだったが、政府役人でもなく学者でもない、一民間活動家としての話は新鮮であった。確かに中国では政府が主導して対外友好協会などの外郭団体を通じて日中友好交流を行っている。純粋な民間の友好団体は少ないと思われその点に関心を惹いたのかもしれない。交流窓口が、日本側が民間団体で中国側が政府機関であっても、中国では快く対等に応対してくれるので、文化、教育、医療など多方面にわたり架け橋としての役割を發揮できる。そしてその役割が最も生かせるのが友好都市ネットワークだ。当協会は友好都市の洛陽市をはじめ、上海市、天津市の友好協会とネットワークがあり、双方の絆を強化するために地道な活動を積み重ね信頼を築いてきた。2025年は、この友好インフラとも言うべき関係を大いに活用し、多くの市民の皆さんと共に有して友好活動のすそ野を広げていきたい。ご支援をよろしく願います。（松）

活動日誌

- 7/24：岡山市長訪問。洛陽市栄誉市民受賞報告（市役所）
- 7/30：岡山市立後楽館高校洛陽訪問（8/4。洛陽市、伊川県）
- 8/9：「岡山と中国」発行（事務局）
- 8/30：第7回西日本日中友好交流大会（ホテルグランヴィア）
- 9/6：煙台。南山学院シンポジウムで講演（煙台）